

令和7年度 群馬県企業局の決算について（速報）

令和7年度の企業局5事業全体の経常利益は、電気事業での少雨の影響等による供給電力量減少などにより、前年度に比べて25億99百万円減少し、42億65百万円でした。
純利益は、前年度に比べて21億22百万円減少し、42億21百万円となりました。

【令和7年度 企業局事業別決算概要】					(税抜き額)			
区分	事業実績		料金等収入		経常損益		純損益	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
電気事業	供給電力量 (MWh) 612,634	供給電力量 (MWh) 722,099	百万円 9,930	百万円 11,302	百万円 2,723	百万円 5,307	百万円 2,698	百万円 4,796
増減	△ 109,465		△ 1,372		△ 2,584		△ 2,098	
工業用水道事業	給水量 (千㎡) 43,706	給水量 (千㎡) 43,922						
増減	△ 216		96		92		90	
水道事業	給水量 (千㎡) 68,359	給水量 (千㎡) 66,923						
増減	1,436		115		43		109	
団地造成事業	分譲面積 (ha) 17.7	分譲面積 (ha) 8.9						
増減	8.8		1,590		33		△ 48	
施設管理事業								
・ゴルフ場	利用者数 (人) 168,896	利用者数 (人) 180,588						
増減	△ 11,692		△ 82		△ 92 △ 182	90	△ 75 △ 174	99
・賃貸ビル	貸付面積 (㎡) 3,965	貸付面積 (㎡) 4,072						
増減	△ 107		9					
・格納庫	貸付面積 (㎡) 2,908	貸付面積 (㎡) 2,908						
増減	0		0					
合 計								
増減			20,871 355	20,516	4,265 △ 2,599	6,864	4,221 △ 2,122	6,343

※表の数値は、表示単位未満の端数調整の関係で、合計と一致しない場合があります。

【決算の主な特徴】

●電気事業

- ・ 販売電力料は、少雨や工事に伴う発電所の停止などによる供給電力量の減少により、前年度に比べて１３億７２百万円減少し、９９億３千万円
- ・ 経常利益は、販売電力料の減少や修繕費の増加などにより、前年度に比べて２５億８４百万円減少し、２７億２３百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて２０億９８百万円減少し、２６億９８百万円

●工業用水道事業

- ・ 給水収益は、給水量が若干減少したものの、料金改定の実施により、前年度に比べて９６百万円増加し、１６億９千万円
- ・ 経常利益は、給水収益の増加などにより、前年度に比べて９２百万円増加し、２億３８百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて９千万円増加し、２億３９百万円

●水道事業

- ・ 給水収益は、給水量が若干増加したことにより、前年度に比べて１億１５百万円増加し、４１億５百万円
- ・ 経常利益は、給水収益の増加などにより、前年度に比べて４３百万円増加し、７億５９百万円
- ・ 純利益は、訴訟の解決金に係る特別利益などにより、前年度に比べて１億９百万円増加し、８億２５百万円

●団地造成事業

- ・ 分譲収益は、分譲面積が増加したことにより、前年度に比べて１５億９千万円増加し、４５億６千万円
- ・ 経常利益は、分譲収益が増加したものの、産業団地に係る造成原価などの増加により、前年度に比べて３３百万円の増加にとどまり、６億３５百万円
- ・ 純利益は、板倉ニュータウングリーンブロックの帳簿価額を時価（分譲価格）に引き下げたことに伴う会計処理で特別損失を計上したことなどにより、前年度に比べて４８百万円減少し、５億３２百万円

●施設管理事業

- ・ 料金等収入は、ゴルフ場事業で、板倉ゴルフ場のクラブハウス建設工事の影響を考慮して納付金の減額したことなどにより、前年度に比べて７３百万円減少し、５億８４百万円
- ・ 経常利益は、料金等収入の減少や固定資産除却費の増加などにより、前年度に比べて１億８２百万円減少し、９２百万円の経常損失
- ・ 純利益は、前年度に比べて１億７４百万円減少し、７５百万円の純損失